

新潟市地球温暖化対策実行計画(地域推進版)素案についてー概要ー

第1章 計画策定の背景と経緯

■地球温暖化と気候変動の動向, 国内外の状況

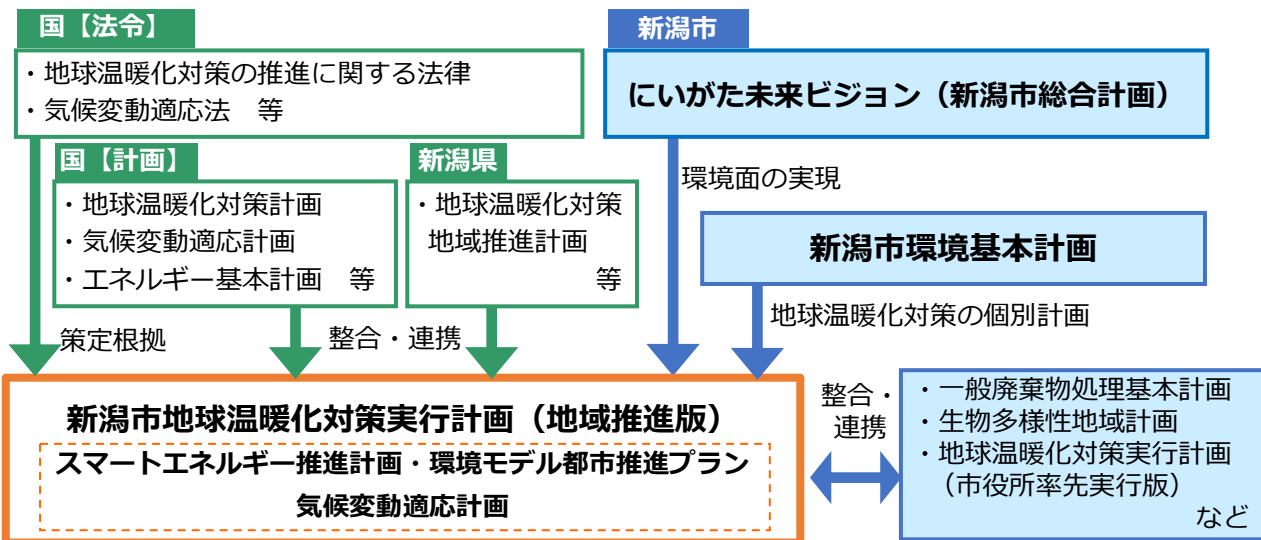
■計画改定の視点

- パリ協定と地球温暖化対策計画への対応
- 気候変動適応法への対応
- 地域循環共生圏の創造

脱炭素化, 環境・社会・経済の統合的向上, SDGs



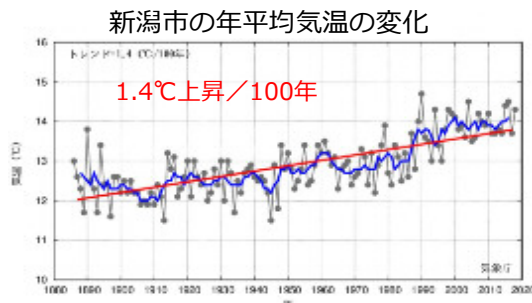
■計画の位置づけ



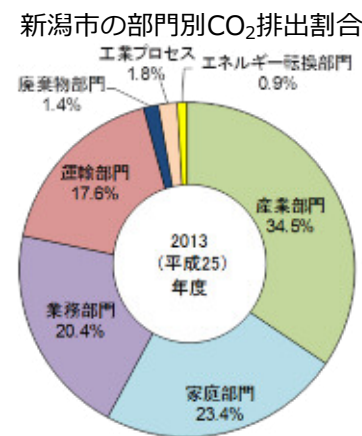
■計画期間 2019~2024年度(6年間)

第2章 本市の現状・地域特性と課題

■本市の気候の変化と将来予測



■温室効果ガス排出状況



■地球温暖化対策の課題

【産業・業務部門】

- ・中小規模事業所の省エネ化, 機器の高効率化や運用改善
- ・取り組み促進に向けた助言や支援の体制整備

【家庭・運輸部門】

- ・省エネ住宅や次世代自動車への転換
- ・温暖化対策の取り組みを促す環境づくり
- ・過度な自家用車利用から公共交通等への転換

【気候変動への適応】

- ・気候変動による生産基盤, 自然生態系, 産業, 健康や市民生活への影響
- ・自然災害によるインフラ等への影響

第3章 計画の目標

■目指すべき将来像 都市と田園の豊かな価値を循環し, 都市全体が調和ある発展を遂げる

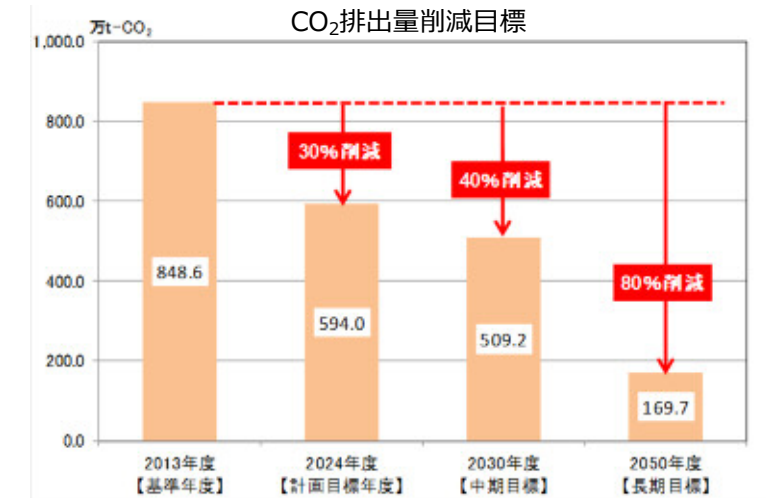
「田園型環境都市にいがた」

■温室効果ガス(二酸化炭素)の削減目標

- 短期目標: 2024年度までに2013年度比▲30%
- 中・長期目標: 2030年度までに▲40%
- 2050年度までに▲80%

■取り組み方針

1. 田園環境の保全・持続可能な利用
2. スマートエネルギーシティの構築
3. 低炭素型交通への転換
4. 低炭素型ライフスタイルへの転換
5. 適応策の実践 ←新規



第4章 基本対策と施策

視点: SDGs・地域循環共生圏の考え方をふまえ, 環境・経済・社会の統合的向上による課題解決を目指す

1. 田園環境の保全・持続可能な利用

- 1-1 環境保全型農業と農業の低炭素化の推進
- 1-2 田園資源の有効活用と交流促進
- 1-3 田園環境の保全
- 1-4 緑化の推進

2. スマートエネルギーシティの構築

- 2-1 地域特性を活かした再エネ・省エネ・蓄エネ推進
- 2-2 未利用エネルギーの活用の推進
- 2-3 エネルギーマネジメントの推進
- 2-4 環境と経済の好循環の推進 ←新規

3. 低炭素型交通への転換

- 3-1 コンパクトなまちづくりの推進
- 3-2 公共交通と自転車・徒歩利用の促進
- 3-3 モビリティの低炭素シフト

4. 低炭素型ライフスタイルへの転換

- 4-1 低炭素社会への人づくり
- 4-2 資源循環型社会の構築
- 4-3 シェアリングの促進 ←新規
- 4-4 市の率先行動の推進 ↓

5. 適応策の実践

- 5-1 自然災害対策の推進
- 5-2 熱中症・感染症対策の推進(ヒートアイランド対策)
- 5-3 適応型農林水産業の推進
- 5-4 地域のレジリエンスの強化

第5章 連携・協働プロジェクト

- ◆(仮称) 環境エネルギーアライアンスPJ…脱炭素ビジネスの創出
- ◆(仮称) にいがた脱炭素リーディング事業者拡充PJ…脱炭素経営の拡充
- ◆(仮称) COOL CHOICE がたっ子PJ…地域への取り組み波及

第6章 計画の推進

- 計画の推進体制
- 計画の進捗管理